令和６年度第１回公共施設マネジメントワークショップ@小金原
～小金原市民センターのあり方を考える～

■開催日時：令和６年７月２０日（土）
　　１５時３０分～１７時３０分
■会　場　：小金原市民センター２階 ホール
■出席者　：約３０名

■プログラム：①開会あいさつ
　②これまでの取組のおさらい
　③趣旨説明
　④グループワーク①（全体発表含む）
　⑤グループワーク②
　⑥総評・閉会

■ワークショップ

●令和６年２月１８日開催　令和５年度 小金原地域ワークショップ　前回

これまでの活動の振り返りを行うとともに、コロナ禍など社会状況の変化を踏まえ、まちの活気づくりに貢献する**小金原市民センターに必要な機能について検討**しました。

令和５年度のワークショップの結果を踏まえ実施

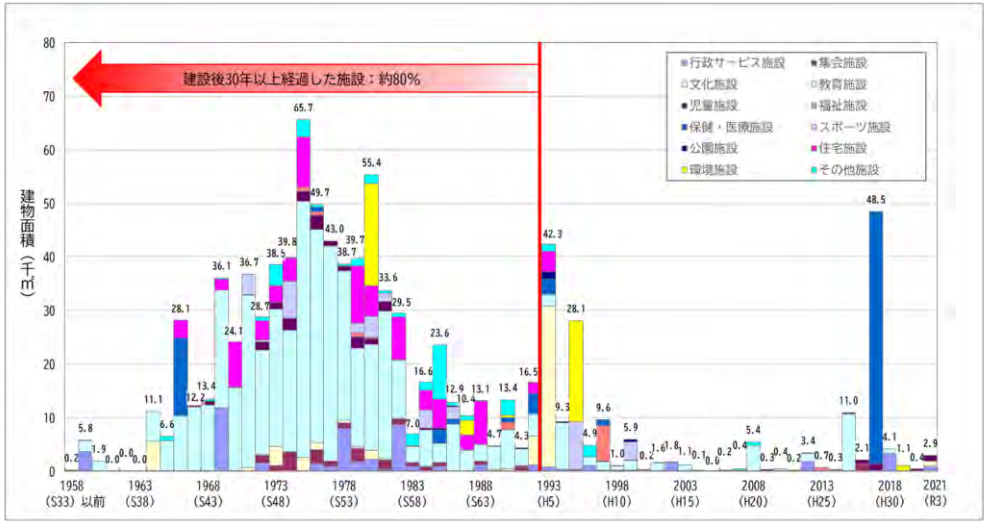
●令和６年７月２０日開催　令和６年度 第１回公共施設マネジメントワークショップ@小金原　今回

令和５年度実施のワークショップの結果を踏まえ、**小金原市民センターの導入機能・規模や配置イメージ、小金原市民センターの再整備手法について検討**しました。

これまでの取組のおさらい（ワークショップ配布資料より抜粋）

1．これまでのおさらい

■公共施設の整備状況



出典：松戸市公共施設等総合管理計画改訂版

1．これまでのおさらい

■松戸市（小金原地域）で想定される課題

人口減少

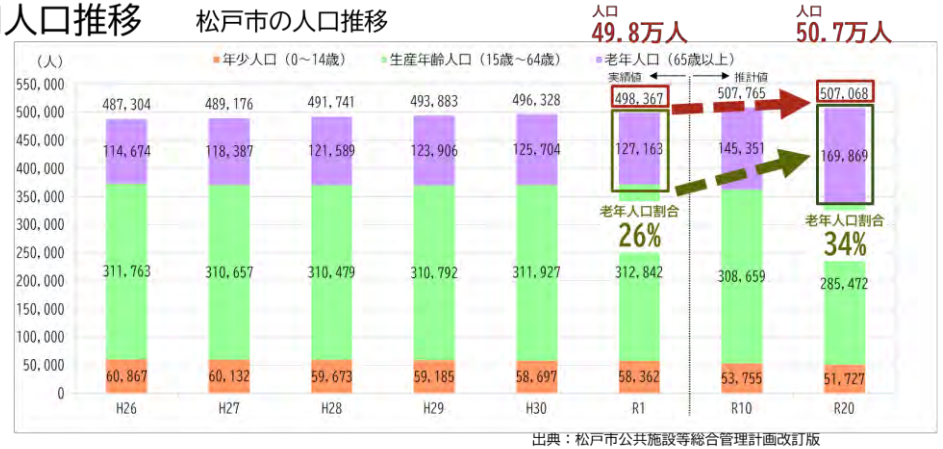
公共施設の老朽化・一斉更新

少子高齢化

財政上の制約

1．これまでのおさらい （人口、少子高齢化）

■人口推移　松戸市の人口推移



出典：松戸市公共施設等総合管理計画改訂版

松戸市の人口は、令和元年と令和20年を比較すると、

ほぼ横ばい（約1.7%増）ですが、

老年人口の割合は約26%から**約34%**に増加する見込みです。

1．これまでのおさらい （人口、少子高齢化）

■人口推移　小金原地域の人口推移

	人口			年少人口（0～14歳）			生産年齢人口（15～64歳）			老年人口（65歳以上）		
	令和元年	令和10年	令和20年	令和元年	令和10年	令和20年	令和元年	令和10年	令和20年	令和元年	令和10年	令和20年
小金原地域	27,727	24,007	21,239	3,041	2,411	2,062	15,524	13,122	10,580	9,162	8,474	8,597
	—	▲ 13.4	▲ 23.4	—	▲ 20.7	▲ 32.2	—	▲ 15.5	▲ 31.8	—	▲ 7.5	▲ 6.2
松戸市	498,367	507,765	507,068	58,362	53,755	51,727	312,842	308,659	285,472	127,163	145,351	169,869
	—	1.9	1.7	—	▲ 7.9	▲ 11.4	—	▲ 1.3	▲ 8.7	—	14.3	33.6

人口 約2.8万人 → 人口 約2.1万人

老年人口割合 約33% → 老年人口割合 約40%

出典：松戸市公共施設等総合管理計画改訂版

小金原地域の人口は、令和元年と令和20年を比較すると、

約23.4%減少すると見込まれています。

小金原地域の老年人口の割合は、

約33%から**約40%に増加**する見込みです。

人口は減少し、老年人口割合の増加が見込まれます。

これまでの取組のおさらい（ワークショップ配布資料より抜粋）

1．これまでのおさらい （公共施設）

■小金原地域の主な公共施設

施設名称	施設分類 大分類	施設分類 中分類	建築年度	築年数	延床面積
小金原支所	行政サービス施設	支所	昭和51年	47年	163㎡
旧根木内東小学校(校舎)	行政サービス施設	その他行政サービス施設	昭和53年	45年	3,752.10㎡
小金原市民センター	集会施設	市民センター	昭和51年	47年	703.58㎡
図書館小金原分館	文化施設	図書館	昭和51年	47年	188㎡
タウンスクール根木内	文化施設	社会教育施設	昭和51年	47年	931.48㎡
根木内小学校	教育施設	小学校	昭和44年	54年	7,452㎡
栗ケ沢小学校	教育施設	小学校	昭和44年	54年	7,935㎡
貝の花小学校	教育施設	小学校	昭和50年	48年	7,014㎡
栗ケ沢中学校	教育施設	中学校	昭和44年	54年	9,104㎡
根木内中学校	教育施設	中学校	昭和52年	46年	7,734㎡
旧根木内東小学校 (体育館・倉庫・プール)	教育施設	その他教育施設	昭和53年	45年	813㎡
小金原保育所	児童施設	保育所	昭和43年	55年	632.22㎡
コアラ保育所	児童施設	保育所	昭和47年	51年	1,197.57㎡
小金原老人福祉センター	福祉施設	高齢者対象施設	昭和51年	47年	825.94㎡
小金原体育館	スポーツ施設	体育館等	昭和59年	39年	3,228.78㎡
栗ケ沢公園庭球場	スポーツ施設	競技場・球場	昭和47年	51年	391.28㎡
ユーカリ交通公園	公園施設	公園管理施設等	昭和60年	38年	324.87㎡
小金原住宅	住宅施設	市営住宅	昭和44年	54年	2,048.65㎡
小金原併存住宅	住宅施設	市営住宅	昭和47年	51年	3,574.10㎡

昭和40年代、50年代に建設された公共施設が多く、老朽化が進行しています。

1．これまでのおさらい （公共施設）

■延床面積からみた他地域との比較（公共施設カルテによる分析）

地域	市民1人当たりの公共施設の延床面積 全施設	市民1人当たりの公共施設の延床面積 対象地域を意識して配置した施設	市民1人当たりの公共施設の延床面積 うち住民利用施設	市民1人当たりの公共施設の延床面積 うち年少者対象施設	公共施設の延床面積	令和元年度の人口 全体	令和元年度の人口 年少人口	令和元年度の人口 老年人口
本庁地域	平均的	少ない	多い	少ない	最も多い	最も多い	最も多い	最も多い
常盤平地域	最も多い	平均的	少ない	多い	多い	多い	多い	多い
小金地域	少ない	平均的	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない	少ない
小金原地域	多い	最も多い	平均的	最も多い	少ない	最も少ない	最も少ない	少ない
六実地域	平均的	多い	最も多い	多い	少ない	少ない	少ない	少ない
馬橋地域	最も少ない	最も少ない	少ない	最も少ない	少ない	少ない	少ない	少ない
新松戸地域	少ない	多い	少ない	多い	平均的	平均的	平均的	平均的
矢切地域	少ない	平均的	最も少ない	平均的	最も少ない	少ない	少ない	最も少ない
東部地域	多い	多い	平均的	多い	少ない	少ない	平均的	少ない

▶小金原地域の特徴として
住民1人に対して、対象地域を意識して配置された施設（市民センターや学校等）の面積は、市内で最も多い状況にあります。他地域と比較すると、子どもを対象とする施設が多くなっています。

1．これまでのおさらい （財政上の制約）

■今後見込まれる維持管理や機能更新

これまで整備してきた**公共施設等では老朽化**が進んでおり、

今後、これらの**維持管理や機能更新などが**

集中的に発生した場合には

本市財政への影響も懸念されているところです。

これまでに開催したワークショップなどの取組（ワークショップ配布資料より抜粋）

2．これまでに開催したワークショップなどの取組

■これまでの取組（平成29年度以降の小金原地域での取組）

●平成29年度（2017年度）
①平成29年12月10日：ワークショップ『みんなで考える小金原の未来』
②平成30年２月４日：シンポジウム『鳩山に学ぶ』
③平成30年３月４日：懇談会『誰もが安心して暮らしつづけることができる社会づくり』

●平成30年度（2018年度）
①平成30年９月16日：ワークショップ①
②平成30年10月21日：ワークショップ②
③平成31年３月９日：ワークショップ③
『公共施設将来シナリオを見直して、地域のみんなで小金原に活気を取り戻す』

●令和元年度（2019年度）
①令和元年12月15日：シンポジウム『ニュータウンの将来に備え、これからの「まち空間」を考える』
②令和２年２月９日：懇談会『将来の小金原市民センターのあり方を考える』

●令和５年度（2023年度）
①令和６年２月18日：ワークショップ『まちの活気づくりに貢献する公共施設のあり方を考える』

2．これまでに開催したワークショップなどの取組

■令和５年度 小金原地域ワークショップ開催結果の概要

1．令和５年度小金原ワークショップ開催結果　小金原地区会まちづくり部×松戸市

令和５年度 小金原地域ワークショップ
～まちの活気づくりに貢献する公共施設のあり方を考える～

■開催日：令和６年２月１８日(日)
１４時３０分～１６時３０分
■会　場：小金原市民センター２階 ホール
■出席者：約３０名

■プログラム

①これまでのおさらい
②令和２年度以降の取組
③グループワーク
④全体発表

■ワークショップ

●令和２年２月９日開催　小金原地域懇談会　前回
他市の学校施設・地域交流施設の先進事例や**小金原市民センターの現状と課題を共有**し、**これからの市民センターの使い方や将来の目指すべき方向性について検討**しました。

約４年ぶりの開催

●令和６年２月１８日開催　小金原地域ワークショップ　今回
これまでの活動の振り返りを行うとともに、コロナ禍など社会状況の変化を踏まえ、まちの活気づくりに貢献する**小金原市民センターに必要な機能について検討**しました。

2．これまでに開催したワークショップなどの取組

■令和５年度 小金原地域ワークショップ開催結果の概要

■グループワーク
・まちの活気づくりに貢献する公共施設となることを目指して、図書館や老人福祉センターなどを含む小金原市民センターの機能について検討しました。

①小金原市民センターで**したいこと、できると嬉しいこと**は何か、意見交換しました。

主な意見
・読書や学習がしたい。
・音楽（楽器の練習、カラオケ、コンサート、バンド交流会）がしたい。
・ゆっくりくつろぎたい、おしゃべりしたい。
・多世代で交流したい。
・イベントを開催したい。（パブリックビューイング、朝市、ゲーム大会等）
・子どもを安心して過ごさせたい。（子どもの居場所、子ども食堂）
・運動がしたい。（筋トレ、体操、ストレッチ、ダンス）
・各種教室（パソコン、スマホ、工作）に参加したい。

2．これまでに開催したワークショップなどの取組

■令和５年度 小金原地域ワークショップ開催結果の概要

■グループワーク
・まちの活気づくりに貢献する公共施設となることを目指して、図書館や老人福祉センターなどを含む小金原市民センターの機能について検討しました。

②**したいこと、できると嬉しいこと**を実現するために必要な**空間や設備**は何かを考え、グループ内での意見をまとめ、グループごとに発表しました。

主な意見
・フリースペース
・テント付きのオープンスペース
・スペースを区切るパーテーション
・Wi-Fi設備、パソコン、プロジェクター
・談話室
・自習室、読書室、個室ブース
・カフェ、喫茶コーナー、飲食店、自動販売機
・防音室、アンプのあるスタジオ
・授乳室、おやこDE広場
・子どもの預かり
・運動場、ジム
・健康や暮らしの相談窓口

グループワークの検討内容

■グループワーク①

テーマ：小金原市民センターを長寿命化改修した場合、どのような施設にしたいか
～諸室の機能と規模についての検討～

・令和５年度実施のワークショップの結果を踏まえた**「小金原市民センターの導入機能・規模や配置イメージ」**について、意見交換しました。

主な意見

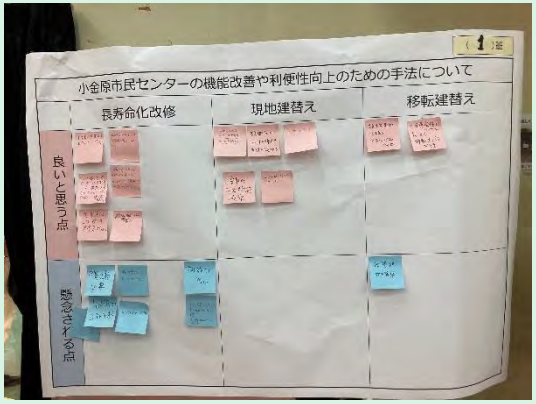
- 老人福祉センターは、高齢者（60歳以上）だけでなく、全世代・誰でも使えるような施設とし、多世代交流ができる明るい空間を望む意見が多く挙げられました。
- 諸室の機能を限定せず、利用目的に合わせてパーテーションで区切り、多目的な利用ができる諸室（ホールや会議室等）を望む意見が多く挙げられました。
- ホールは現状の機能を維持しつつ、歌やダンス等で大きな音を出しても大丈夫な防音設備を望む意見、利用目的に合わせてパーテーションで区切っても設備を使えることを望む意見等が挙げられました。
- 図書館分館は現状の機能を維持しつつ、学習スペース、読書スペースや絵本の読み聞かせスペース等の機能を追加した新しい図書館の使い方を望む意見が多く挙げられました。

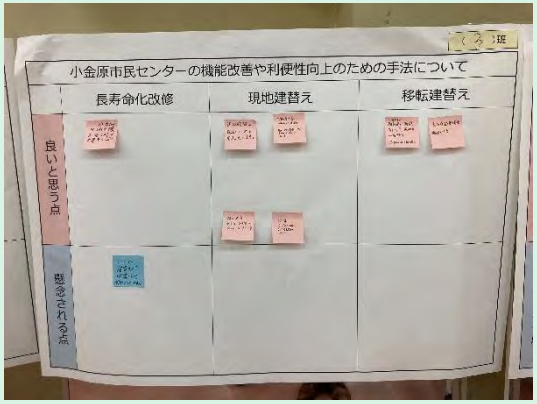
グループワークの検討内容

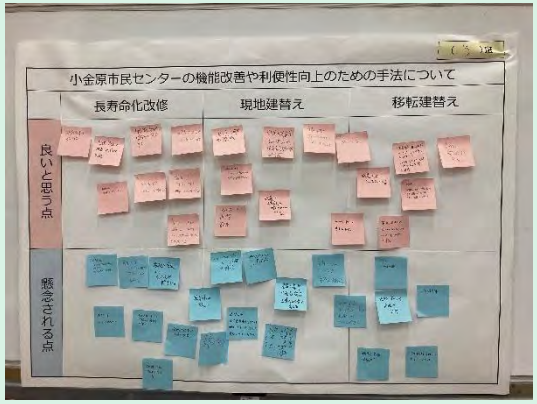
■グループワーク②

テーマ：小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

・老朽化した小金原市民センターの再整備手法として想定される**「長寿命化改修」、「現地建替え」及び「移転建替え」の各手法のメリット・デメリットを踏まえ、どの手法が望ましいと思うか**について意見交換しました。







主な意見

	長寿命化改修	現地建替え	移転建替え
良いと思う点	• 現施設は小金原の中心地にあり、立地環境が良い • （建替えと比較して）コストを抑えることができる	• 現在地の利便性を引き継げる • 市民ニーズに合った機能の追加や見直しができる	• 施設や駐車場の規模を拡大することができる • 現施設の跡地を有効活用できる
懸念される点	• 諸室配置・追加できる機能・規模に制約がある • 建替えとのコストの比較が必要 • いずれ建替えが必要	• 建替え中に施設を利用できない • （長寿命化改修と比較して）コストが多くかかる	• 移転場所を確保する必要がある • 小金原地域全体の今後の方向性を決定しないと移転場所を決めることが難しい

グループワークの総評

■グループワークの総評

・グループワーク①の各班の発表及びグループワーク②の意見交換の結果を踏まえ、村山教授（東京大学大学院工学系研究科 都市工学専攻 都市計画研究室）から、総評をいただきました。

総評の概要

- 老人福祉センター部分は、高齢者（60歳以上）だけでなく、誰でも使えるような多世代交流が可能な施設とすることを望む意見が多く挙げられていた。
- 空間づくりの考え方として、「静かな空間（静）」と「にぎやかな空間（動）」を分ける、「誰でも入れる空間」と「ある程度利用目的を特化した空間」を分けるといったメリハリが必要という意見、また、利用目的に応じた柔軟な使い方できるよう、パーテーションで区切れるような設備を望む意見が多く挙げられていた。
- 現施設のスペースが限られているため、中庭に面する廊下の上手な使い方（例：バーカウンター形式の作業ができるスペース等）や現施設の周囲を囲む低い柵をなくして、周辺道路・周辺施設との境界をなくすこと等の新しい空間づくりの工夫が必要である。
- 色々な機能が少しずつ入っているような諸室・機能の配置（幕の内弁当的）ではなく、施設の利用者の属性や使い方（ペルソナ）を具体的に考えながら、施設のあり方や導入機能・規模を検討することが重要である。

グループワーク①：小金原市民センターを長寿命化改修した場合、どのような施設にしたいか ～諸室の機能と規模についての検討～

コンセプト
キャッチコピー

いつきてもワクワク小金原市民センター

（ 1 ）班

■凡例（全班共通）　現施設の機能　想定される導入機能 ※事務局準備　想定される導入機能 ※参加者書き出し

図書館に読書相談などできるスペースと人
図書館は新しい機能で

＋絵本コーナー
＋おもちゃ
＋読書スペース
＋学習スペース

人のいるスペース

パーテーションで区切られる会議スペース

多目的

＜1階＞

支所は2階に

カラオケの音

踊りや歌をしても大丈夫な防音設備が欲しい

支所としての設備は非常にスムーズにできているため、このままで可と思う

エアコンは快適に！
照明は明るく
防音

トレーニングルーム（20人程度が使え、音楽（リズム）が外に漏れないような防音付き）のフリースペースもあると良い

＜2階＞

現在の小金原市民センターの機能（機能入替え実施後）

大広間	大広間	大広間	大広間	健康相談室	茶室	和室	浴室	浴室	機能回復訓練室	中庭	中庭
料理教室	料理教室	料理教室	茶室	和室	図書館分館	図書館分館					

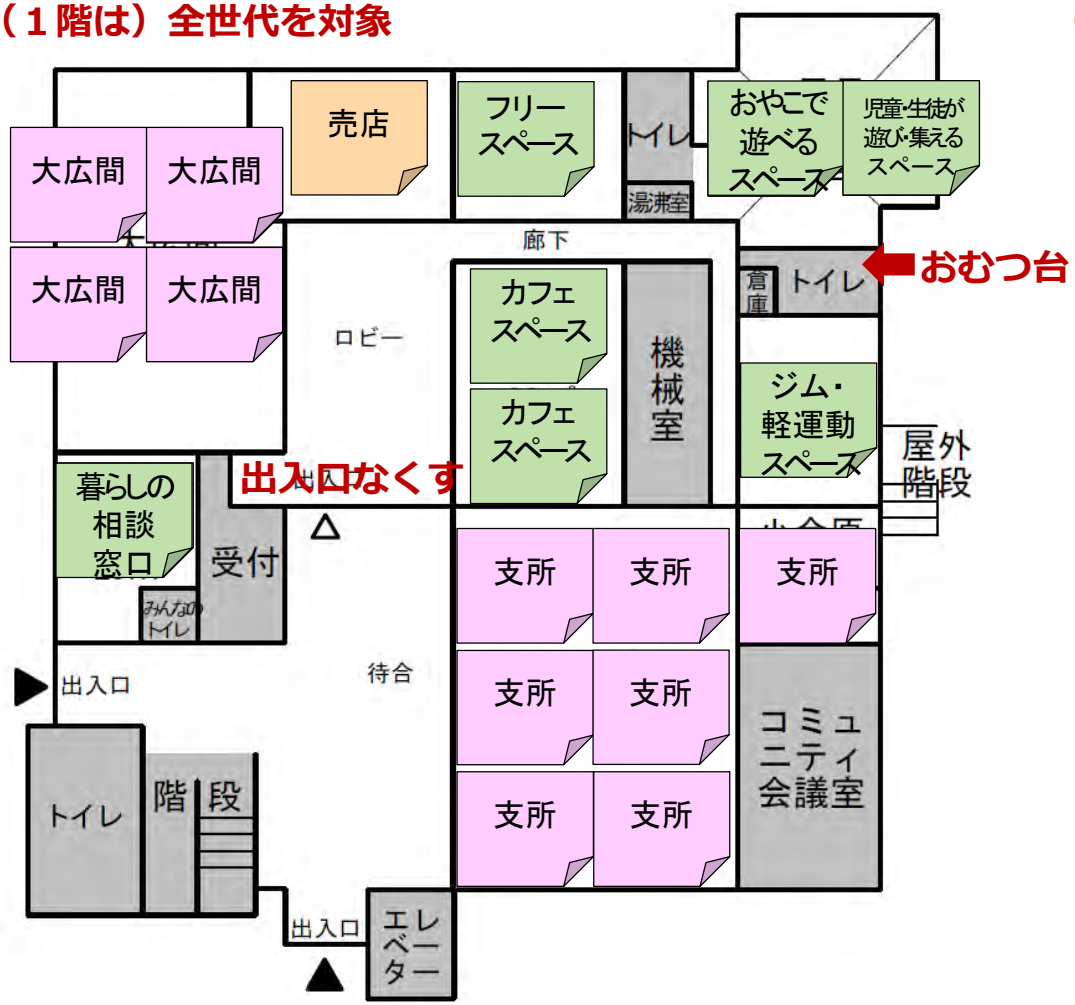
グループワーク①：小金原市民センターを長寿命化改修した場合、どのような施設にしたいか ～諸室の機能と規模についての検討～

コンセプト
キャッチコピー

ユニバーサル市民センター

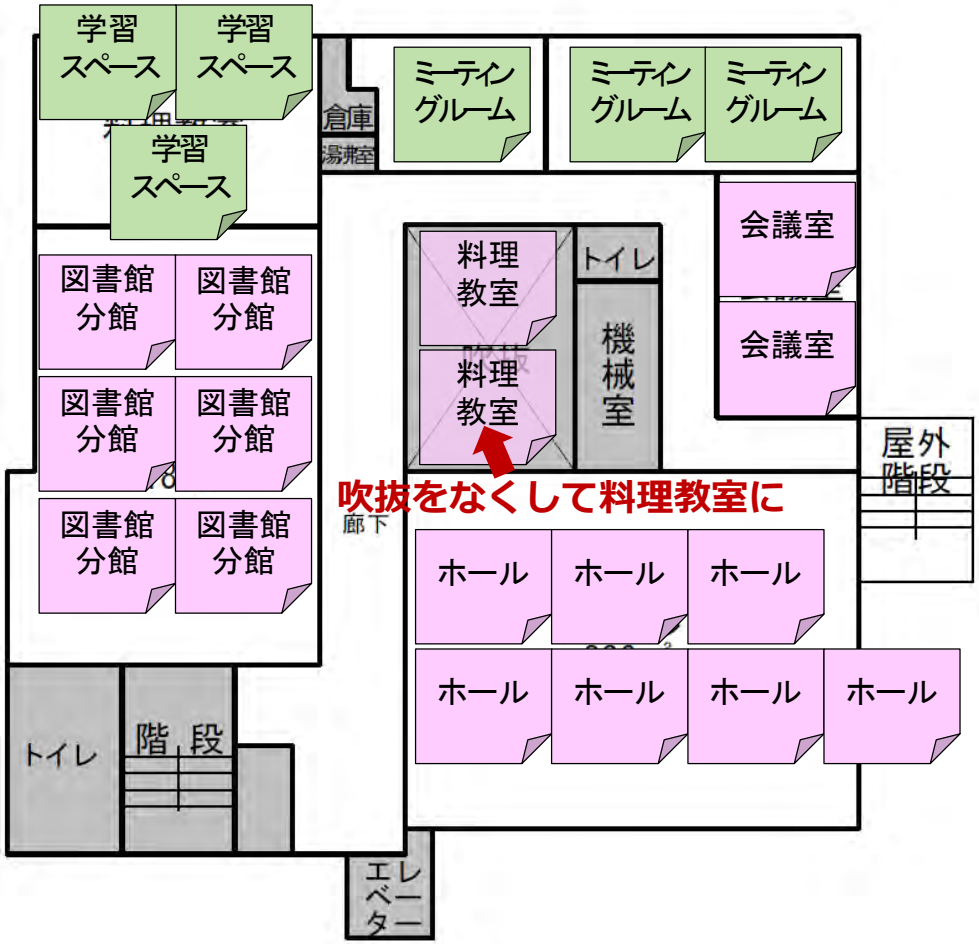
（ ２ ）班

（１階は）全世代を対象



＜１階＞

（２階は）用途別



＜２階＞

現在の小金原市民センターの機能（機能入替え実施後）

料理教室	茶室	和室	和室				
健康相談室	茶室	和室	浴室	浴室	機能回復訓練室	中庭	中庭

グループワーク①：小金原市民センターを長寿命化改修した場合、どのような施設にしたいか ～諸室の機能と規模についての検討～

コンセプト
キャッチコピー

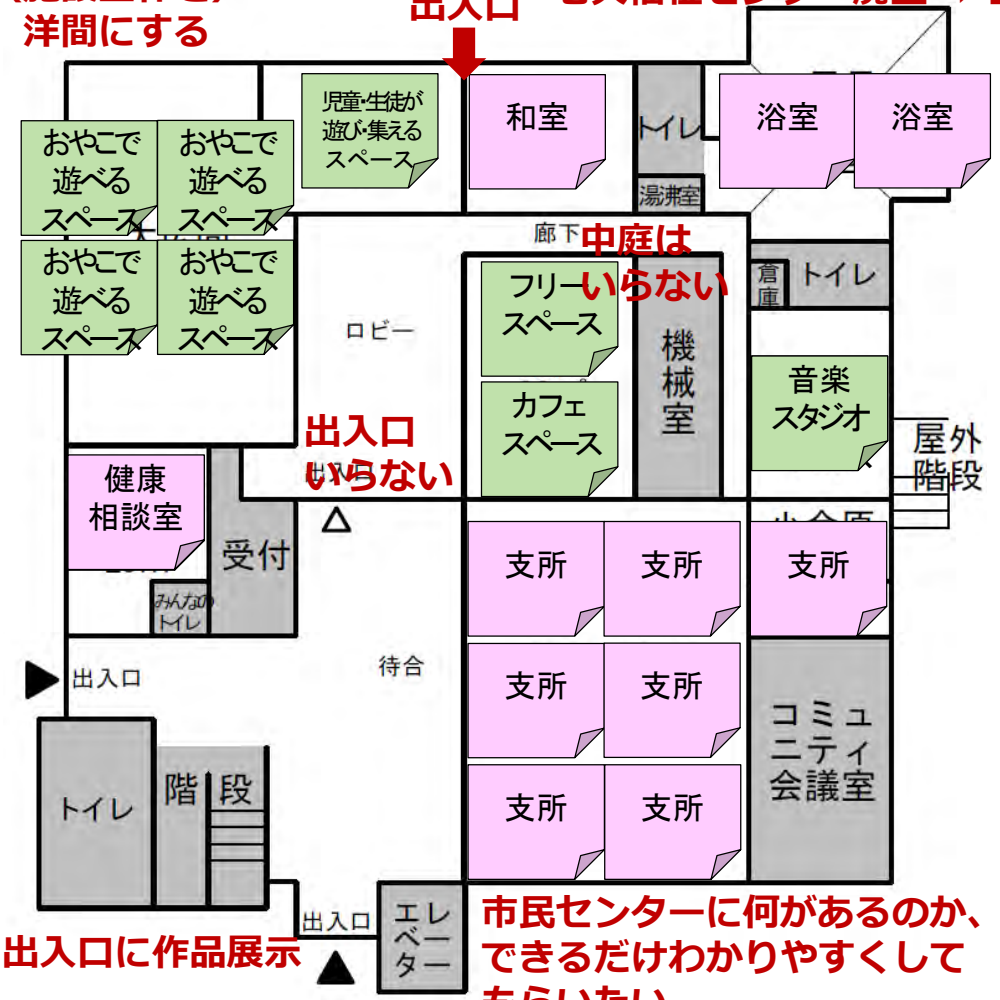
全世代が利用しやすい気軽に来れる市民センター

（ 3 ）班

（施設全体を）
洋間にする

出入口

老人福祉センター廃止 ➡ 全世代型施設へ

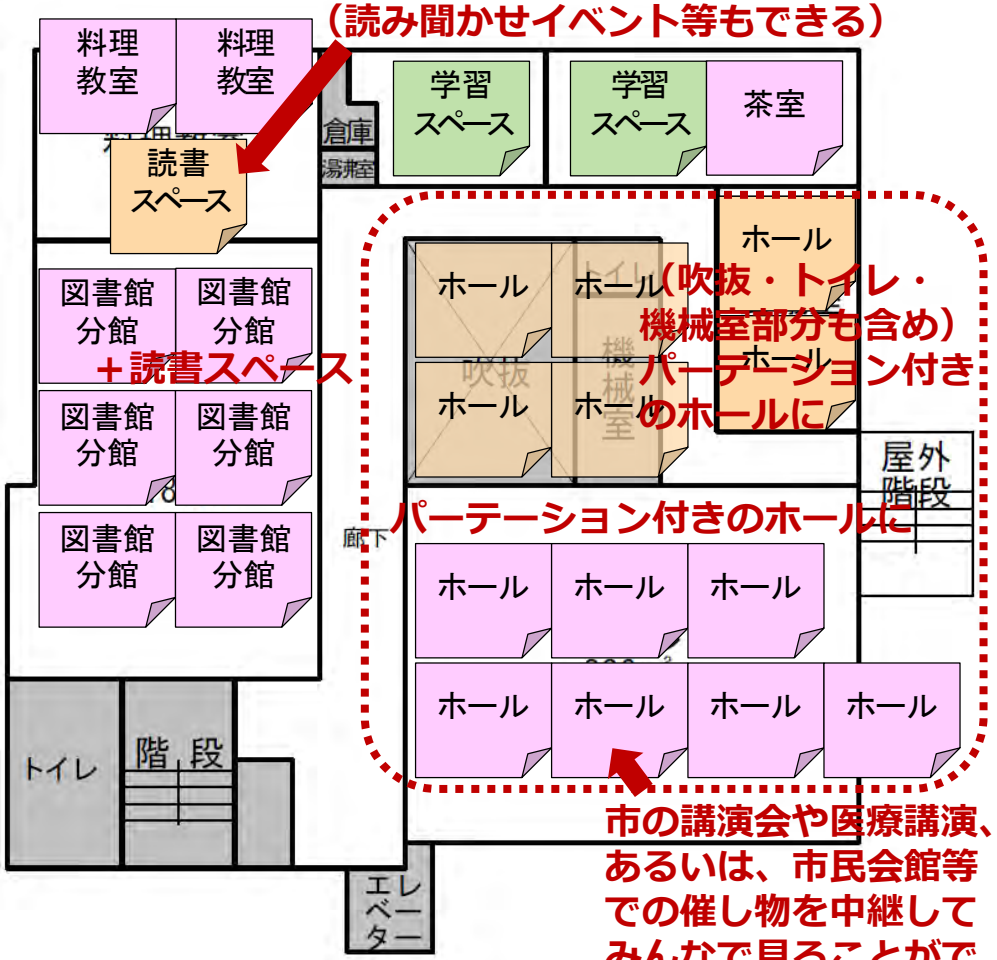


出入口に作品展示

市民センターに何があるのか、できるだけわかりやすくしてもらいたい

＜1階＞

声を出してよいスペース
（読み聞かせイベント等もできる）



市の講演会や医療講演、あるいは、市民会館等での催し物を中継してみんなで見ることができる部屋（パブリックビューイング）

＜2階＞

現在の小金原市民センターの機能
（機能入替え実施後）

料理教室	和室	和室	会議室	会議室			
大広間	大広間	大広間	大広間	茶室	機能回復訓練室	中庭	中庭

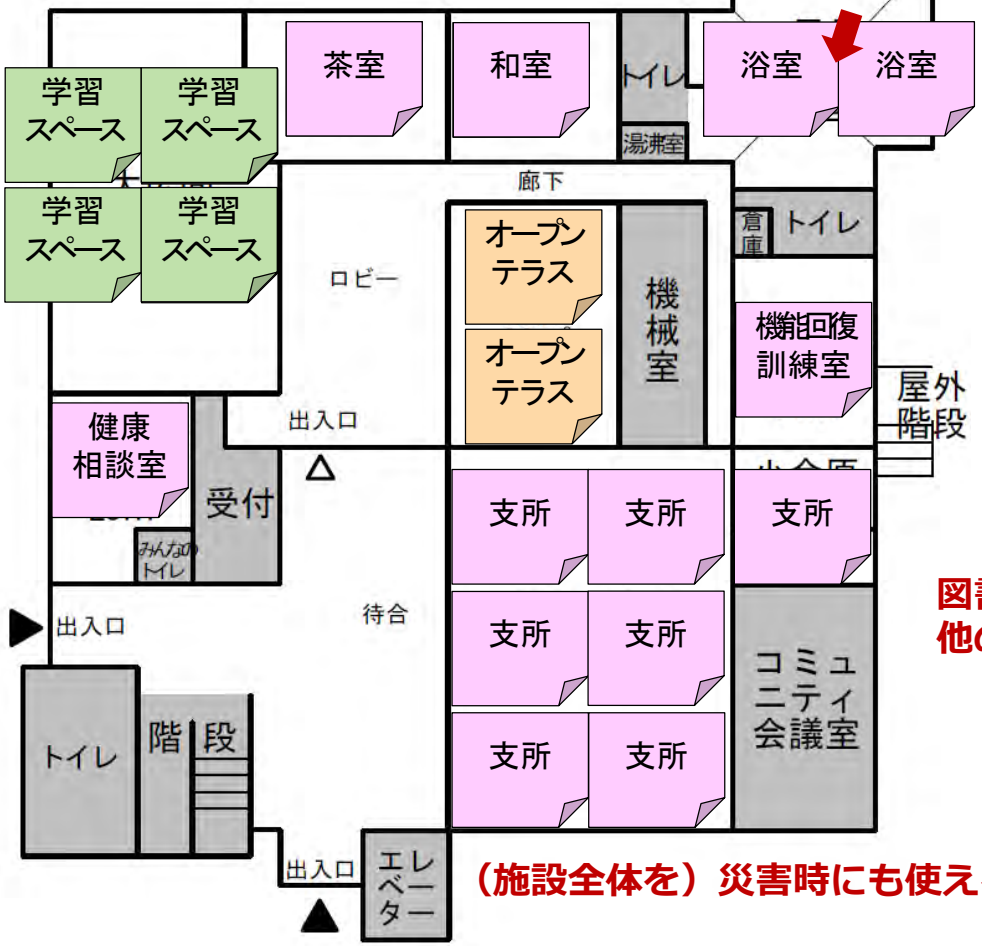
グループワーク①：小金原市民センターを長寿命化改修した場合、どのような施設にしたいか ～諸室の機能と規模についての検討～

コンセプト キャッチコピー	使いたくなるような、使いやすい市民センター（来たい・会いたい・楽しみたい）	（ 4 ）班

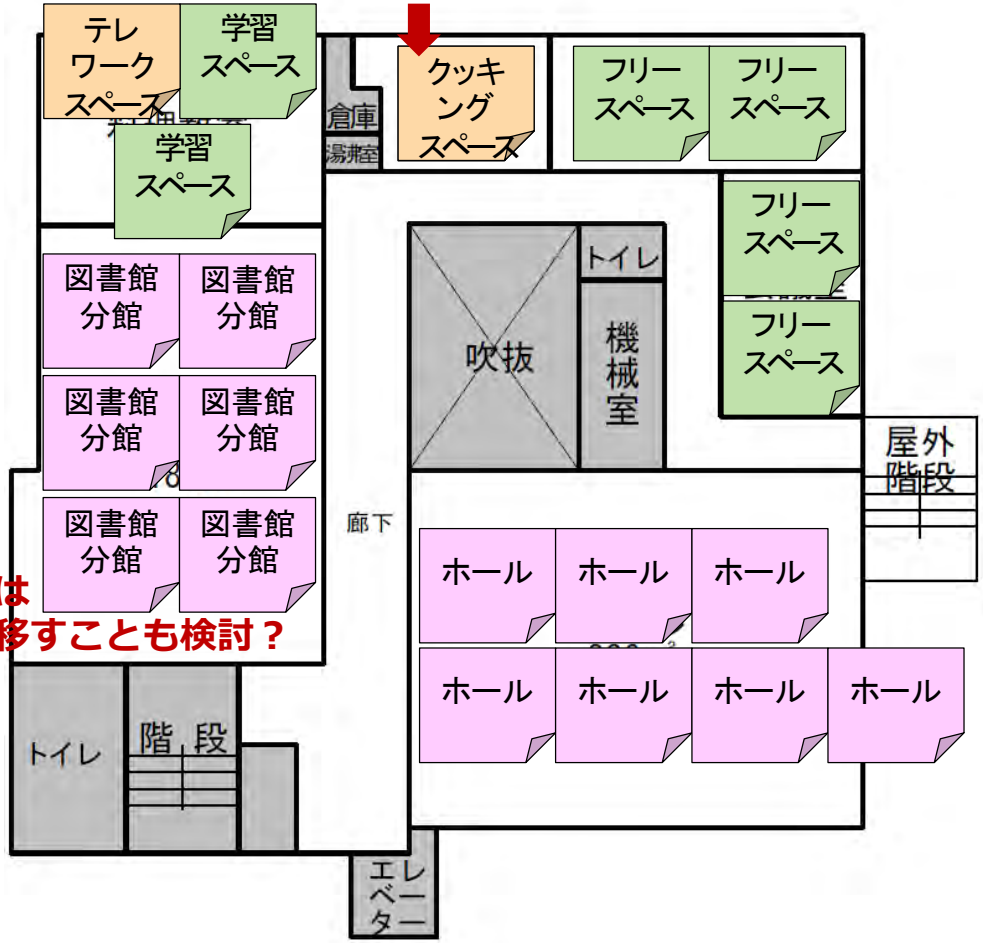
老人福祉センターに限定しないで
一般の人も使えるように

誰でも使える健康ランドのような場所
サウナもあったらうれしい

使わないときは自由に使えるカフェスペース



＜1階＞



図書館分館は
他の施設に移すことも検討？

（施設全体を）災害時にも使えるように

＜2階＞

現在の小金原市民センターの機能
（機能入替え実施後）

料理教室	料理教室	料理教室	茶室	和室	和室	会議室	会議室
大広間	大広間	大広間	大広間	中庭	中庭		

グループワーク②：小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

（ 1 ）班

小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

	長寿命化改修	現地建替え	移転建替え
良いと思う点	あるものは使おう 自然にやさしい 土地代がかからずその分設備に使える 児童館を別に建てる予算が残る 児童館（分館）へ分離して別に この建物がダメになる頃には構成人員も変わっているので、その時に建替えられる 場所的に小金原の中心にあるので便利さが失われる	現在地の利便性を引き継げる 小金原の中心機能確保 高層にする スペース拡大などフリーになる 50年後のことを考えて、現地建て替えを希望します	跡地利用による公共サービスの向上 小金原全体は広いから移転が可だろう
懸念される点	予算の比較が必要 50年間でコスト比較 制約が多い レイアウト変更に制約 もう少し長い目で考えるほうが良いと思う。50年前に行ったことと同じように 便利性が失われる		代替地の有無

グループワーク②：小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

（ 2 ）班

小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

	長寿命化改修	現地建替え	移転建替え
良いと思う点	環境的に小金原公園、病院、商店街も近いので、今の場所にて建替えがいいと思う 今ある場所なので考え検討しやすい 費用が少なく済む現地は小金原の中心にあるのでよい	㎡（延床面積）があげられる NEWが感じられる 今の施設は古いため建替えたほうが長寿命化が図れる いろいろな要素を入れて建設できる これからの未来ある子供達にとって多世代でも使用しやすい 本当に必要なものを判断し今の場所はみんな慣れているので、場所はそのままで良い	恵まれた場所が見つかれば移転建替えしてもよい。駐車場の確保が必要 今の施設は古いため長寿命化が図れる建て替え方がよい 今より広い施設を作ることができる。いろいろな要望に応えることができる 長期的な街づくりの視点で最適な規模での拠点を作れる。ex）郵便局、新京成バス車庫も含めた再開発
懸念される点	長寿命化がどれくらいできるのか 限られたスペース 規模の制約があるので抜本的な機能改善ができない 現在の施設はスペースが限られており、多くの要望に応えるスペースが作れない 現状の場所で改修はやりずらいし、費用もかなりかかりそう	費用がかかる 建替え中に施設が使えない	移動場所の利便性 移動場所の確保が難しい 小金原中央全体の計画がないと移動先が決められない 小金原のまん中で別場所を考えるのが難しい

グループワーク②：小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

（ 3 ）班

小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

	長寿命化改修	現地建替え	移転建替え
良いと思う点	ニーズに合わせたレイアウト変更が低コストでできそう	現在のニーズを見直すことができる 松戸市と市川市を合わせ政令指定都市化を目指す 体育館、駐車場を含めての建替えも一考 松戸郵便局と一体化した建替え 魅力的な市民センター＆タウンセンターができる	小金原商店街駐車場に新設することで現地を利用できる+妥協のない施設を 充分な駐車場を確保できる
懸念される点	いずれ建替えが必要となる（最終的なコスト高）		

グループワーク②：小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

（ 4 ）班

小金原市民センターの機能改善や利便性向上のための手法について

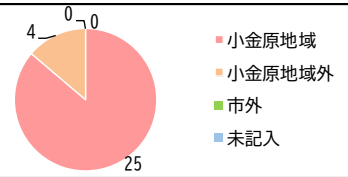
	長寿命化改修	現地建替え	移転建替え
良いと思う点	駐車場（商店街）を拡大する 商店街のビル化 小金原の中心地 場所的に良い 現状施設の継続利用が可能 長寿命化計画が立てやすい 資産が活用できる ムダが少ない 先送りすることで建築上の技術進歩（低コスト化）が期待できる 出費が少なくて済む	空室を図書館、ちょいカフェに！固定資産税免除 安全管理 住民の気持ち、周りからのイメージアップに繋がる 機能を増やすことが可能 思い切った計画ができる。場所的に馴染みがある センター機能の分散化 森のホール、病院、教育 きれいになる 一から新しく考えられる	体育館の場所にセンターを移転すればOK。その後センターの場所に体育館を建設 体育館の並びに移転すれば中央公園に近づき、新しい発想が生まれる 学校の空スペースを使う 学校や団地等の空いているスペースを活かせる 施設規模を拡大できる
懸念される点	長寿命化計画が中途半端で終わる（理想通りにならない） 改修中は音対策が大変 機能の増設にはスペースが限定される 無理やりスペースを動かすだけになるような気がする 設備は10年で改修が必要 あまり新しく変えられない 省エネに対する対応に無理がある 駐車場が狭い	全体のイメージ、使い方が各所に現れる 地域全体のグランドデザイン 建替え中、どこかに仮でつくるかを考える必要がある コミュニティ資金 コミュニティ保険の新設 建替え工事中の代替施設を設ける必要がある 配管、排水管、電気などのインフラが老朽化（50年）しているため、大々的に予算が必要 資金、クラウドファンディング	移転土地の問題 地域の中心の用地が必要 土地の確保 移転に反対する人困る人がいるかも 移転費用、仮設？ 求められる市民センター像の議論を尽くしてからの方が良い

参加者アンケート回答結果（回答者29名）

Q0

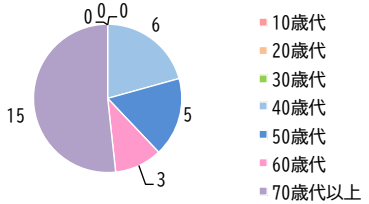
●お住まいの地域

小金原地域	25
小金原地域外	4
市外	0
未記入	0



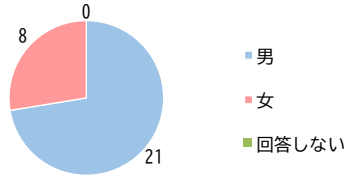
●年齢

10歳代	0
20歳代	0
30歳代	0
40歳代	6
50歳代	5
60歳代	3
70歳代以上	15



●性別

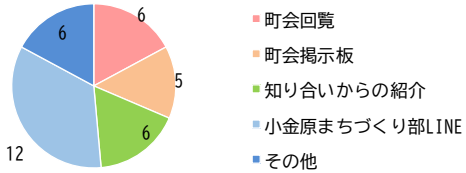
男	21
女	8
回答しない	0



Q1

●何を見てワークショップを知ったか　※複数回答あり

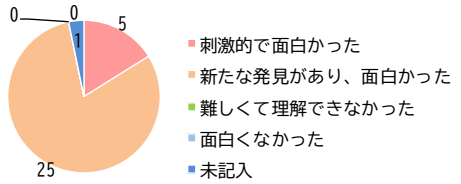
町会回覧	6
町会掲示板	5
知り合いからの紹介	6
小金原まちづくり部LINE	12
その他	6



Q2

●本日のワークショップの感想について　※複数回答あり

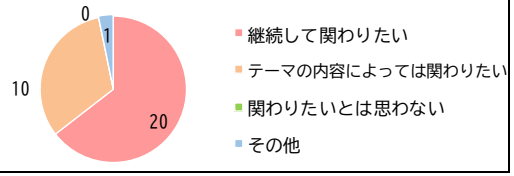
刺激的で面白かった	5
新たな発見があり、面白かった	25
難しくて理解できなかった	0
面白くなかった	0
未記入	1



Q3

●今後も公共施設マネジメントワークショップに継続的に関わりたいか　※複数回答あり

継続して関わりたい	20
テーマの内容によっては関わりたい	10
関わりたいとは思わない	0
その他	1



Q4.　●今後の展開等に関する意見（自由回答欄より抜粋）

- ■ 内容は非常に良かったですが、開催の周知を１ヵ月前くらいからにしてほしい。
- ■ いろいろな意見が出ておもしろいです。　駐車場（現10台）を広げて欲しい。
  利用者が幅広い層なのでむずかしい面はある。児童館的なものを別につくる必要があると思う。
- ■ 駐車スペースを確保してほしい。
- ■ 前回、「予算的に新築はしない」との前提で、もっぱらレイアウトの変更という感が有ったが、
  予算的にどこまでOKか概要、枠付けして、具体化が良い。耐震の改造も必要でしょう。
- ■ さまざまな世代に参加して欲しい。
- ■ 現場、巡回しながら考えよう。（各部所、場所、部屋）
- ■ 顔がつながる運営方法（ソフト面）　地域のマンパワーで受託できる取組の研究検討も。
- ■ 住民意識の丁寧な汲み上げ。
- ■ 児童館は市民センターとは別の場所がいい。

Q2.　●本日のワークショップの感想について（自由回答欄より抜粋）

- ■ （何で改修の話が出ているのか知りませんでした。）全面改修になることは知りませんでした。
  案が少しでも可能になるといいが、参加者が、70才以上が多いので、そこがちょっと心配。
- ■ 自分の考え以外の色々な方の意見を聞くことができたので、勉強になりました。
- ■ 多様な意見を伺うことが出来て、考えを広げることができました。
- ■ 活発な意見の交換、発表があって、よかった。
- ■ 具体的方向に進んでいるのでよかったと思う。建物のデザインを刷新した方が良い。隈研吾とか。
- ■ グループでブレーンストーミングしている間に新たな着想が生まれ、楽しく議論できました。
  すばらしい！
- ■ 既存規制の設備自体が時代に合わなくなっている。生活観にあった施設の用意が求められている。
- ■ 全体的な意見交換が出来ればよかったと思う。
- ■ 皆さん、地域のことをよく考えていらっしゃるのが、伝わってきました。
- ■ 住民同士が小金原のことを語りあえてうれしかった。
- ■ 多世代の意見を聞けてたのしかった。
- ■ みんなで楽しく集まれるスペース。
- ■ 共有できる問題意識が多かった。
- ■ 個人的には言えない事も自由に言えて楽しかった。
- ■ 何回もやっている感じがします。
  古くなった施設の改修は法律もあって限界があるので、その条件を整理した上で考えてください。
  この施設は建替えです。
- ■ 子ども、若者、子育て世代の参加が少ない。参加をうながす工夫が必要（学校との連携etc）